



かわごえ



民児協だより

[第82号]

令和3年1月発行

川越市民生委員児童委員協議会連合会広報部会 / 川越市小仙波町 2-50-2 川越市社会福祉協議会内 ☎049(225)5703・FAX049(226)7666



春だ！ 梅は咲いたが桜はどうか？ 府川にて

撮影者：藤崎二三男



川越市民生委員児童委員協議会連合会
会長 芝波田 静香

明けましておめでとうございませう。

皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今日、地域においては、高齢者のみの世帯の増加が進み、人と人とのつながりが希薄化する中、社会的孤立や生活困窮など、福祉課題や生活課題は複雑化、多様化しております。そして自ら声を出せない方への配慮も欠かせません。

そのような状況下において、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、私達の活動も一時的に自粛を余儀なくされました。

民生委員・児童委員活動の基本であります、訪問の道は制限され、今もなお思うように活動出来ない状況は変わっていません。

その間、私達は理事会をはじめ、各単位民児協においても協議を重ね、委員個々の置かれている環境や心情を尊重し、模索しながら

ら地区の現状に沿った活動に専念してまいりました。

一方では、さまざまな行事やイベントも中止となりました。外出を控え、会えない中でもお互いを案じ、再会を期待する地域の方々の声を耳にいたします。

先の見えない状況ですが、地域の方々の思いと社会の動きに合わせ、関係機関のご指導をいただき、体操教室やサロン等の集い事業も徐々に再開されております。

今後も「新しい生活様式」を身につけ、自身と周りの方々の安全を最優先とし、感染防止に十分配慮した活動を願うところです。

引き続き関係者と連携を図り、この困難な事態を乗りきるため、皆様方と共に取り組んでまいります。

結びに、一日も早く明るく穏やかな「日常の生活」が戻ることを願ひ、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。つといたします。

新年を迎えてのあいさつ



社会福祉法人川越市社会福祉協議会

理事長 関根 水絵

明けましておめでとうございませす。

民生委員・児童委員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、日頃から川越市社会福祉協議会に對しまして、あたたかい御支援と御協力をいただいておりますこと、心から厚くお礼申し上げます。

令和二年から猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活に、かつて経験したことのない大きな影響を与えています。個人や事業者の収入の減少、雇止め、失業などから高齢者、障害者や子育て家庭をはじめ、多くの人々が困窮状態に陥り、地域の福祉課題はより深刻な状況となっております。

このように多くの課題が山積するなか、民生委員・児童委員の皆様には、地域住民の身近な相談者、支援者として大変重要な役割を担っていただいておりますことに

心より感謝申し上げます。

川越市社会福祉協議会といたしましても、地域福祉の中核的役割を担う団体として、民生委員・児童委員協議会連合会をはじめ、各種の関係団体・機関等と連携を図り、地域に根ざした福祉の充実に向け、より一層取り組んでまいります。

そして、「安心して暮らせる心豊かなまち川越」を目指し、子ども、高齢者、障害者などすべての人々が生きがいとともに創り、高め合うことができる「地域共生社会」を実現するため、本年も努力を重ねてまいります。

民生委員・児童委員の皆様におかれましては、地域福祉の推進に今後ともより一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、民生委員・児童委員の皆様様の御活躍とともに、貴会のみますますの発展をお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

地域の活動紹介

南古谷地区

本郷 聡子

南古谷地区は川越市の南東部に位置し、緑豊かな田園地帯である一方、大型商業施設やマンション、新興住宅地も増えています。

その結果、子育て世代も多く住み、南古谷小学校は川越で一番児童数の多い学校となっております。また、牛子小学校、南古谷中学校、砂中学校、東中学校も含め、児童・生徒が多い地域です。今年には新型コロナウイルスの影響で授業時間もかなり減り、学力低下も懸念されました。そこで昨年に続き南



古谷公民館を会場に民児協主催の「夏休み自習室」を開催しました。元教員の地域の方々も指導ボラ

ンティアで参加し、学校と連携してチラシを配布した効果があり、暑いさなか六日間で延べ百人近い小中学生が元気に学べました。感染症対策のため十分に間隔を空けて座り、換気や、消毒などに気を付けつつ、何事もなく終わることができ安心しました。

基本的に学校の宿題に取り組み、早く宿題が終わった子は、主任児童委員が独自に用意したプリントに取り組み他、辞書の引き方を学ぶなどしました。地域の皆さんに見守られて、楽しく勉強することで学力、そして生きる力をつけてくれることを願い来年以降も継続していこうと考えています。

受賞者紹介

秋の叙勲

■瑞宝単光章 高階地区 芝波田静香

■全国社会福祉大会 第5地区 市村 博子

■厚生労働大臣表彰 第7地区 山岸 富子

■全国民生委員児童委員大会 全国民生委員児童委員連合会会長表彰

■永年勤続民生委員・児童委員表彰 (永年勤続民生委員・児童委員表彰) 南古谷地区 千明 勝海

■埼玉県民生委員・児童委員大会 優良民生委員・児童委員協議会表彰

■南古谷地区民生委員児童委員協議会 永年勤続単位民生委員・児童委員協議会会長表彰

■第5地区 市村 博子

■第9地区 田中 敏枝

■埼玉県社会福祉大会 第11地区 坂井 恵子

■霞ヶ関北地区 石橋 恒子

■川越市社会福祉大会 第11地区 川井 恵子

■南古谷地区 千明 勝海

■霞ヶ関北地区 石橋 恒子

主な市民児連活動予定

一月十八日 役員及び部会長等ふれあい福祉まつり

二月一日 理事会 実行委員会

三月一日 理事会

三月十八日 役員及び部会長等合同会議

四月五日 理事会

四月中旬 監査会、部会報告会

五月十六日 第31回ふれあい福祉まつり

霞ヶ関地区

神山 裕一

こんな時代だからこそ…

このコロナ禍にあつて、霞ヶ関民児協の活動もほぼ全ての活動が制限されてきた。

緊急事態宣言の解除後八月の定例会より、充分なソーシャルディスタンスを取りながら、短時間で終わるよう配慮して会議の再開を行った。

昨年十二月から新委員四十一名中二十五名が一期目の方で、様々な面で細かな配慮を必要としていた。特に毎月提出する活動記録作成にあたって日々苦慮して



いるとの意見を頂き、会長を中心に、記載内容のわかりづらい箇所を拾いあげての講習会を二度行った。

また、毎回必ず数例の活動を発表していただき、委員の方々の共通理解を図りながら、今後の活動に各自が生かしていけるようにしている。

私が定例会に出席して感じることは、たとえ現在のよう状況に置かれようとも委員皆様の吾が地域への思いは変わることがない。「ひとりの人を大切にしたい。」との強い思いである。

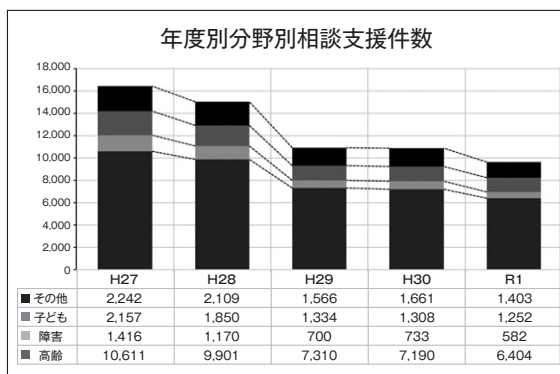
まだまだ先の見えない日々が続く。しかしそういう時だからこそ、委員皆で知恵を出しあい、力を合わせ、安心、安全な地域を目指し、今できる活動を全力で行っていかうと思う。



R1.4.1~R2.3.31時点
民生委員・児童委員 482人

		合計件数	比率	1人当たり 件数/月	
相談・支援件数	(内容別)	在宅福祉	608	6.3%	1.26
		介護保険	383	4.0%	0.79
		健康・保健医療	949	9.8%	1.97
		子育て・母子保健	209	2.2%	0.43
		子どもの地域生活	413	4.3%	0.86
		子どもの教育・学校生活	320	3.3%	0.66
		生活費	171	1.8%	0.35
		年金・保険	19	0.2%	0.04
		仕事	61	0.6%	0.13
		家族関係	309	3.2%	0.64
		住居	124	1.3%	0.26
		生活環境	421	4.4%	0.87
		日常的な支援	2,808	29.1%	5.83
		その他	2,846	29.5%	5.90
		計	9,641	100.0%	20.00
		(分野別)	高齢者に関すること	6,404	66.4%
障害者に関すること	582		6.0%	1.21	
子どもに関すること	1,252		13.0%	2.60	
その他	1,403		14.6%	2.91	
計	9,641	100.0%	20.00		
その他の活動件数	調査・実態把握	8,061	11.8%	16.72	
	行事・事業・会議への参加・協力	15,906	23.2%	33.00	
	地域福祉活動・自主活動	26,396	38.6%	54.76	
	民児協運営・研修	17,717	25.9%	36.76	
	証明(調査・確認等)事務	334	0.5%	0.69	
	要保護児童の発見の通告・仲介	57	0.1%	0.12	
	計	68,471	100.0%	142.06	
	訪問回数	71,530		148.40	
訪問回数	その他	52,115		108.12	
	計	123,645		256.52	
連携回数	委員相互	44,065		91.42	
	その他の関係機関	24,531		50.89	
	計	68,596		142.32	
活動日数		79,040		163.98	

年度別分野別相談支援件数



令和元年度の「活動記録」報告より

令和元年度の活動記録が報告されており、その内容を振り返ってみましょう。

「分野別相談・支援件数」を平成二十七年度から令和元年度までを比較するとグラフのようになります。

このグラフから相談・支援件数の全体合計が低下傾向であることがわかります。

その要因を分野別に分析しますと、高齢者に関する相

談・支援件数が平成二十七年度と比較し、四千二百件程度、約四割も減少しております。同様に障害者と子どもに関しては、平成二十七年と比較し、それぞれ約八百三十件と九百件が減少しています。

このため民生委員・児童委員人数および一人あたりの年間活動日数を調査しましたが、年度別に大きな差異はありませんでした。

この様な状況から判断すると川越市は高齢者から子どもまで住みやすい環境に改善されつつあると考えられます。しかしながら、近年の個人情報意識の向上で民生委員・児童委員には相談しにくい雰囲気があるとすれば私たちも反省すべき点があるのかも知れません。新型コロナウイルスの影響で面談の機会を得ることが難しくなっておりますが、私たちは今後も更に地域の方々に寄り添い民生委員・児童委員活動への理解を頂くように努力していくことが大切になります。

地区民児協だより

第七地区

小池 敬子

第七地区は、川越駅の東側に位置し、仙波町一丁目・二丁目・三丁目・四丁目・富士見町・大仙波・菅原町の七自治会。人口は一

万二千、七十歳以上の高齢者は二千人。高齢化率は十七パーセント程です。民児協は民生委員・児童委員と主任児童委員二名を含め十五名で活動しています。

事業としては、世代間交流として、グラウンドゴルフ、芋掘りなど。高齢者一人暮らしの食事は自治会長参加の昼食会。地域包括支援センター小仙波の支援を受けたオレンジカフェや介護予防の自主グループ体操は、いもっこ体操を主体に音楽に合わせた体操等アレンジし、各自治会、老人会と連携を図り、進めています。

行事やイベントが重なり準備や参加調整が難しい事もあります。参加者の

「楽しかった、また参加したい」との声を聞くと、達成感があり次回も頑張ろうと思っています。

今年は、新型コロナウイルス感染症のため、各自治会の盆踊り、仙波浅間神社の初山、川越まつり等の行事が中止、規模縮小となっています。

訪問活動も高齢者への感染予防のお知らせ等を訪問時に伝え、最初の様子を聞き、短時間で、あるいはインターホン越しに済ませるようにしています。

支援を必要としている方に適切に関係機関と連絡が出来るように、安心して暮らせるように心がけています。



大東地区

山田 幸次

大東地区は、人口約三万五千人、一万五千五百世帯である。四十四名の民生委員・児童委員が委嘱されている。

大東民児協の活動方針は、「民生委員児童委員信条」

の具現化を目指している。民生委員・児童委員は地域住民のために、使命感を持って活動している。

例年、本会は、大東地区社会福祉協議会と連携して

- ・ 配食サービス事業
- ・ 子育てサロン支援事業
- ・ 友愛訪問や見守り活動
- ・ 一人暮らし高齢者の集いの事業に取り組んでいる。

委員の資質向上を目的に計画的に研修を行い、一泊二日の県外先進地視察研修は、委員の見聞を広め、親睦を深める機会でもある。

令和元年末、半数の新委員を迎え、より充実した活動が期待された。三月、新

型コロナ感染拡大防止の観点から、事業や活動等を検討し、当面休止措置とした。五月に再開した定例会は、

これまでグループで委員の話し合い中心であったが、時間の制約があり、情報提供や指示伝達が多くなった。委員の日常の悩みや相談事を話し合う時間が短く、共通理解に苦慮している。

友愛訪問や見守り活動、配食サービスは、短時間の面談を条件に継続している。九月から子育てサロン支援が再開できたが、他の多くの事業が休止状態である。皆無であった委員研修も、関係機関の協力を得て、計画することができた。



今後、「ウィズコロナ」の観点で、民児協の諸事情の見直しが求められている。大東民児協の歴史と伝統を継承しつつ、地域福祉の充実を目指し、住民に寄り添う大東民児協を創造したい。



生きがい訪問

● 第九地区 ●

加島 利一さん



私は一九三五年（昭和十年）九月生まれ、八十五歳になりました。四十歳で独立して製造業を自宅で始めました。それまでは地域との接触がほとんどありませんでした。ほぼ同時期に、自治会への誘いが飛び込んできました。歴代の経験者数名で職場内にまでやってきて、三日掛りで、やむなく引き

受けることとなりました。それから四十年間、何かにつけて、今でも、自治会との関わりを持っておりま

す。自治会内のクラブ活動に旭町三丁目吟詠会がありま

す。発足当時から続けてお

りますが、声の大ききだけは、まだ普通以上だと、自負して

おります。皆さんと一緒に武道館の舞台に立ったこと

もありま

す。週一回ですが腹式呼吸が健康の一助となつて

いると考え、続けております。笑寿会（老人会）のクラブにウォーキング会がありま

す。月一回ですが楽しく参加しております。二・三時間ですが季節の移り変わりを感



じながら気分転換になります。私は自然にふれることが大好きで、若い頃から、機会あるごとに、旅に出

ていました。特に歩いて山頂に立つ魅力に取り憑かれ、次第に本格的な登山へと進展してゆき、今でも仲間の会で月二回低山歩きをしております。でも、今年

名細地区民児協10月定例会・情報交換会

防災に向けて

「いざという時に支え合い、助け合うために、今“やるべきこと”」

「名細地区」

生活福祉部会

年間の巣籠もりでしたが、どうしても、色づいた山の景色が見たい欲望にかられて、十月末に東北の栗駒山と山形県の月山ですばらしい紅葉と黄葉を観てまいりました。私の母は五年前迄元気で

した。百二歳でした。母を

越えようとは思っていませんが、相応な所迄元気で生活出来れば、と考えております。その為には、今迄やって来たことの継続だと思

います。人々と、自然と、密に関わりながら明るく、楽しく、過ごせれば最高です。

決壊し、入間川・小畔川・越辺川の合流地点の介護施設と付近住居等が、甚大な被害を受けました。（川越市は、寺尾地区を含め、ここ数年、災害に見舞われています。）

まず柴課長より、被害の状況・復旧に向けての活動について、川越市社協の主導の下、地域社会をはじめ、名細地区の民生委員・児童委員（有志）及びボランティア等の皆さんが協力し行

われた旨、総括的な説明がありました。又、田澤主査からは、ボランティアが果たした役割等、説明がありました。風化させてはならないという思いです。

台風19号で越辺川の堤防が



そして、災害に対する姿勢と取組の心構えについて、次のとおり指摘・説明がありました。今後は高齢化社会を迎え、新型コロナウイルス感染症の下、重要性が増しています。

◆事前準備（ハザードマップによる安全な場所／行動の確認・情報手段の確認／確保・安否確認等連絡手段の確認・災害防止への初期準備、このための訓練）

◆発生時の対応（避難情報の確かかつ迅速な入手・行動）

◆避難行動（屋内／避難場所への迅速な対応）

基本は「自らの命は自らが守る」（当事者意識をもつ）です。又、日頃から、民生委員・児童委員、自治会等が連携・協力し意思疎通をはかることの重要性を強調されました。

民児連役員の年賀状

新年明けましておめでとうございます。
本年も例年ごおりの活動に邁進しましょう。

さて、私の今年の努力目標について

- 一、三密を回避して活動します。
 - 一、病気に対する免疫力を高めるために、バランスのよい食事、十分な睡眠、適度な運動に努め、体力増強を目指します。
 - 一、高齢者一人暮らしの方や地域の方々と日常的にコミュニケーションを図ります。
- 今年もどうぞ宜しくお願い致します。



副会長 田中 敏枝



明けまして おめでとうございます

皆様が健やかに新年を迎えられたことをお喜び申し上げます。
今年も 自粛生活から始まりましたが
一日も早く落ち着いた生活を取り戻せるよう
心よりお祈り申し上げます。



副会長
市村 博子



明けまして おめでとうございます

本年も、まだまだ続くであろうWITHコロナの時を
私たち民生委員・児童委員は、ご高齢者の心の健康が
失われない様に、話を聴く、応える等
寄り添うよう心掛けたいものです。



会計 中島 眞利子



コロナで迎えた新年

今こそ、渋沢翁や孔子の歩んだ
「忠恕」(まごごろとおもいやり)の
こころを大切にしたいと思います。
地域の皆さまに寄り添う
大東民児協をめざします。



会計
山田 幸次



今年(辛丑)は「かのと・うし」
まよりのある年
前半はゆっくり、後半はこの牛歩が実り
益々前進できるようです。
令和三年、コロナに負けず頑張りましょう。



副会長
藤崎 昇



時の鐘

新型コロナウイルス感染の影響により、多くの行事が開催できず、民生委員・児童委員活動も制限される中で、原稿を快く執筆して下さいました皆様に感謝申し上げます。各地区民児協それぞれ特徴のある記事を見て、とても勉強になりました。このメンバーで初めての編集作業に戸惑いながらも発行することができ、ほっとしています。

編集会議は感染予防のため、席の間隔をあけ、窓を開き、マスクを着用等、不便なこともありましたが、令和3年はコロナが終息し、平穏な生活ができることを希望します。

今号の編集担当は、伊東正晃・小野守・田上好弘・松田令子・斉藤奈緒美・比佐實・網島裕子・吉本恵美子の八名です。

